

綠陰漢詩

秋元光博

されの手踊りが主体 その演技たるや実に堂々として悠々たるもの。小柄な躯が精一杯両手を広げ、リズミカルに飛翔している。

稱府知事賞受賈  
三余無忘道並煙  
上作鴻遊知事彰  
真正私佞津輕趣  
智子恢峯慶同鄉

府知事賣の受賄を称つ  
三余急ること無く道遥云煌々  
上作鴻遊す 知事の彰  
真正私かに伝つ津輕の趣  
智子の恢季同郷を慶ばす

太秦東映画村の中村座に於いて、京都ふるさと連 ファミリー演芸大会が催されたときのことである。貴森県人会からは三上真智子が、舞踊の部に出演した。本格的に日本舞踊を習っている人たちの出場が多くつたが、三上さんは津軽よ

しなみ 嘴もつま」と聞いて認識を新たに  
驚いた。  
知事賞賛と云ひ、「如何」「ふ  
れども」の催しとは云つても、容易な  
ことではない。あつし口に憶て駆せ、  
一詩（芳名入り七絶）を呈して  
心底より祝意を表す。

小道具の傘と扇子が効果的に演技をさらに大きく見せ、舞台が狭く感じられた。何よりも「ふるわと……」の催しに最も相応しい演題、内容で且つすいづる付きの熱演であった。

新しい「第1歩となる60-1回」になります。今後もよろしく。  
医家隨想 特集「医家藝術と私」、「医者としての喜びや悲しみ（喜怒哀樂）」を延長します。ふるって「心を募げだれこ。

普普通のHツセイモダ付け  
ます。  
詩歌　評議やいわ　医業俳壇  
歌壇　柳壇はこつものよひてうた  
5首です。

春雲亭の訂正 文森特集スミス評論  
45 真下段2行目 人口呼吸 人丁  
呼吸 医芸歌壇 61 真下段 横田生  
生の2首田 錦まつり 鍋まつり  
お詫びしてお止めします。

## 秋季号（9月）の募集要項